

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652「京銀輝く未来応援ファンド3号 for SDGs」
第7号案件への投資について

～新規疼痛薬の研究開発などを行う「株式会社 BTB創薬研究センター」へ投資～

京都銀行（頭取 土井 伸宏）が、2022年3月にグループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役社長 竹中 伸一）と共同で設立した「京銀未来ファンド3号」は、第7号案件として、「株式会社 BTB創薬研究センター」へ投資いたしました。これにより「京銀未来ファンド1号」、「京銀未来ファンド2号」、「京銀未来ファンド3号」での投資先は、48社となりました。

「株式会社 BTB創薬研究センター」は、低分子医薬品を用い、新規疼痛薬やがん免疫増強薬、希少疾患治療薬（遺伝病）の研究開発を行う企業です。特に同社が京都大学と臨床試験を実施している新規疼痛薬は、麻薬性疼痛薬に匹敵する鎮痛効果を有する一方、麻薬特有の依存性や副作用を有しない画期的な製品になることが期待されます。同社は「減病済民 経世招福」を使命に掲げ、将来的には、先天性疾患の克服など社会的意義の高い事業を通じて、大きく成長することが見込まれます。

京都銀行グループでは、今後も成長が期待できる企業への積極的な支援を通じて社会課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 投資先概要

企業名	株式会社 BTB創薬研究センター
代表者	代表取締役 大菊 鋼
所在地	京都市左京区浄土寺下南田町90番地4
設立	2020年6月
事業内容	新規非オピオイド疼痛薬、がん免疫増強薬、希少疾患治療薬（遺伝病）の研究開発

2. 投資額

50,000,000円

3. 投資について

本件投資により、「株式会社 B T B 創薬研究センター」は、さらなる成長に向けて新規疼痛薬やがん免疫増強薬、希少疾患治療薬（遺伝病）研究開発を進めます。

4. 京銀未来ファンド3号の概要

名 称	京銀輝く未来応援ファンド3号 f o r S D G s 投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド3号)
投資対象	・ 当行の営業エリア内に本社を置く、独自性や新規性のある技術やビジネスモデルを有する企業 ・ 当行取引先企業のD X化やサステナビリティ経営に資する事業を行う日本国内の企業
出 資 者	無限責任組合員（G P）：京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員（L P）：株式会社 京都銀行
ファンド総額	20億円
当行出資額	19億80百万円
設 立	2022年3月31日
存続期間	10年（2022年3月～2031年12月）

以 上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにその目標であるSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

